



## あいさつ

新潟県中央工業高校同窓会  
会長 松 縄 嘉彦  
(S54年卒)

感染症禍、2年目の夏を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。

本年も例年通り6月に同窓会総会を開く予定で開催を目指しておりましたが、感染拡大が続いているため、残念ながら昨年に引き続いて開催を断念せざるを得ませんでした。

総会議案は、常任委員の皆さんによる書面での議決をもって総会議決に替えさせていただきます。

楽しみにされていた皆様には大変申し訳なく存じます。

私も、一日も早く終息して、皆様にお会いできることを願っております。

令和2年度の同窓会の事業は、感染症禍に対応する学校と生徒たちのバックアップを率先して続けてまいりました。

学校には日々の消毒用に、除菌電解水給水器をはじめとする感染防止用具を適宜寄付して学校生活の安全を保てるようバックアップに努めるとともに、分散集会が可能なように県の配置計画に合わせて電子黒板の寄贈を行いました。それらは日々の学校生活に有効に活用されています。

また、制約を受けながら卒業して行く生徒たち全員に、激励の意味を込めたデジタル電波置き時計を卒業記念品として贈りました。

同窓会の活動自体にも制約を受けるなかではありますが、困難なときほど学校を支えなければならないと思っております。

また、創立110周年記念行事を令和5年に目標設定しました。感染防止に努めながら、会員名簿発行に向けた準備作業を始めます。

社会活動が停滞している状況下でも、生徒たちは立派な未来の社会人を目指して、勉強に部活動にと取り組んでいます。

会員同士の親睦交流などは難しいですが、少しでもこうした母校の情報をお届けしながら、会員と母校を繋げていきたいと思っております。

まだまだ困難は続くと思われませんが、今後とも母校と同窓会の発展に御協力賜りますよう、御願い申し上げます。

天候不順な折、感染防止に努められ、御自愛下さい。

令和3年6月吉日